

妙聲寺 「ほのぼの寺子屋」

私達は、地域との繋がりを深め、互いに関わる機会の一つとして、異世代交流を通して未来を担う子供たちとの交流を行いたいと考え、妙聲寺本堂で小学生を対象とした学習支援を行っています。

＜現在の活動状況＞

児童： 14名（小学2～5年生）

ボランティアスタッフ： 6名

活動日程： 毎週金曜日 14：30 ～ 17：30 まで ※妙聲寺本堂にて

※13：30からは、100歳体操が始まり、夏季休暇中等には児童が参加して楽しんでいる（6月から）。

＜活動状況＞

児童1名～2名に対して、1名のボランティアがつき、主に宿題や算数・国語等を指導している。当初は緊張して殆ど話すことがなかった児童たちも、今では活動を通して学校や家での出来事、困ったことなど、スタッフにいろいろと報告してくれるようになり、笑顔も増えてきた。

また、私達の活動に共感をしていただいた小学校では、週に1回放課後学習を開始された。

＜工夫したこと＞

学習がマンネリ化しないよう、日常生活を通した学びの場となるよう、調理実習を行い、量りや天秤の仕組みを学習する機会を設定した。



＜課題＞

高学年の児童が多く、下校時間が遅いため、「ほのぼの寺子屋」に着く時間が16時位になってしまう。そのため、開始時間を大幅に遅れ、活動時間を延長せざるを得ない状況が生じており、ボランティアの拘束時間が長くなってしまっている。ボランティアスタッフが高齢であり、長時間拘束することが難しいため、低学年を中心に活動を進めるべきか、活動時間を厳守し、時間の延長を取りやめるか、検討中である。また、支援が必要な家庭や児童に結びついていない状況も課題である。

＜展望＞

○低学年と高学年がより集中して学習に取り組めるよう、活動時間の入れ替え等を行っていきたい。
○現在の課題を改善するため、週1回開始されている小学校の放課後学習に、出張寺子屋として私達が参加していきたい。

